



## タネまきの準備 発芽には水と空気と温度が必要です。



### 水

たっぷりの水やり。



タネまき後の  
たっぷりの水やり。  
水を吸収することで  
発芽が始まります。



### 空気

タネも呼吸しています。



ふかふかの土で  
空気を確保。  
固い土はほぐし、  
水はけを  
良くしましょう。



### 温度

発芽適温をキープ。



植物が芽を出す最適な  
温度のときに、  
タネまきすることが  
とても重要。また後も  
適温をキープしましょう。



## タネのまきかた

芽が出るまでは目をかけてください。



1  
土の表面に、指でタネの大きさの  
約3倍の深さのくぼみをつくり、  
タネを3粒ほどまきます。

2  
土をかぶせ、手で軽く押さえます。  
土を厚くかけると発芽が悪くなる  
好光性種子はタネが隠れる程度に  
してください。

3  
たっぷりの水をやさしくかけます。  
芽が出るまでは、毎日の水やりを。  
土を乾かささないでください。



## 間引き 心が痛みますが、残った苗がのびのび育ちます。

発芽しても、小さくて細かったり、途中で枯死したり、虫害を受けたりする弱い苗があります。  
これらを小さな苗のときから順次抜いて、大きくて丈夫な苗だけを残していきます。  
残った苗は風通しの良い環境でのびのび育ちます。



間引き前  
本葉が数枚出たときや植物が成長したとき、  
隣どおしの葉が重なってきたら…

間引き後  
小さいものや茎が細くてヒョロヒョロしているもの、  
葉の色が薄く変色しているものを摘み取ってください。



東京優芳園  
TOKYO YUHOEN